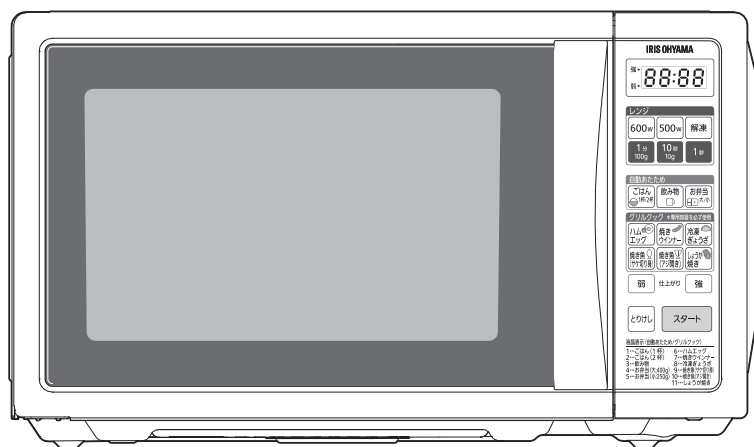


専用容器付き 電子レンジ

グリルクックレンジ

IMBY-T17-5 / IMBY-T17-6

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	5
各部の名称	6
使える容器・使えない容器	8

取り扱いかた

準備	9
使いかた 基本	10
使いかた 自動あたため	11
使いかた 手動加熱	12
使いかた 解凍	13
調理の目安	14
専用容器について	16
グリル調理～専用容器を使う（自動）	17
グリル調理～専用容器を使う（手動）	18
お手入れ	19

こんなときには

故障かな？と思ったら	20
仕様	22
保証とアフターサービス	23
転居するときは	23
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。



分解禁止

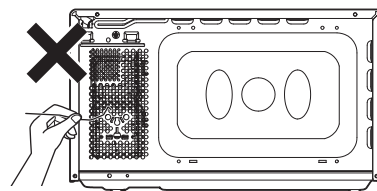
- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 周波数（50Hzまたは60Hz）の異なる電源で使用しない
製品が破損し、火災や感電の原因になります。



- 吸気口・排気口や製品のすきま、庫内の開口部に、異物を入れない
火災・感電・けがの原因になります。
異物が入ったときは、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
ただし、使用后1分は冷却のため、電源プラグを抜かないでください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。
- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷付けない
傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



アースを
必ず接続

- **アースを必ず取り付ける**
故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。

次のような場所で使用する場合は、法律でアース工事（D種設置工事）が義務付けられています。

- **湿気の多い場所**
土間・コンクリート床・貯蔵室など
飲食店の厨房など
- **水気のある場所**
洗い場など水を扱うところ
水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところ



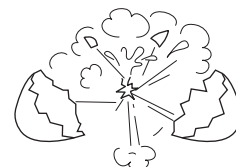
- **水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断機を設置する**
水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断機の設置が義務付けられています。（ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。）
詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



- **アースは、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない**
爆発・火災の原因になります。



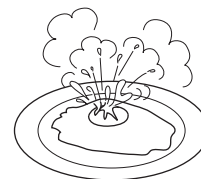
- **卵は必ず割りほぐしてから加熱する**
- **殻や膜付きの食材は必ず切れ目を入れる**
- **びんや密封容器のふたは必ず外してから加熱する**
破裂して、けがややけどの原因になります。



- **乳児のミルクやベビーフード、介護食などをあたためるときは、加熱後かき混ぜて温度を確認する**
やけどのおそれがあります。



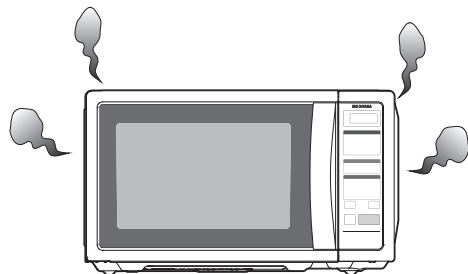
- **缶詰・瓶詰め・袋詰め・レトルト食品・真空パック食品は加熱しない**
破裂のおそれがあります。必ず別容器に移し替えてから加熱してください。
- **ゆで卵、目玉焼きなどは加熱しない**
爆発して大変危険です。



調理中は



- **調理中はそばを離れない**
食材が発煙・発火することがあるので、注意してください。
- **繊維質の多い食材・小さく切った食材・少量の食材は発火することがあるので、注意する**
ラップをする、加熱しすぎないなど注意して調理してください。



飲み物などの加熱時は



- **加熱しすぎない**
- **加熱前・加熱後はスプーンなどでかき混ぜる**
飲み物や油脂分の多い液体（生クリームなど）は、加熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。
加熱しすぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。



- **屋外で使用しない**
- **壁や家具、カーテンなど、燃えやすいものの近くで使用しない**
- **畳・じゅうたん・テーブルクロスなど熱に弱いものの上で使用しない**
火災の原因になります。



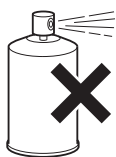
水ぬれ禁止

- **水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない**
- **本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない**
火災・感電の原因になります。

安全上の注意 つづき



- スプレーをかけない
(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)
- 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- 乗ったり寄りかかったりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。
- 扉に無理な力を加えない
変形して電波漏れにより人体に被害を及ぼしたり、火災の原因になります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



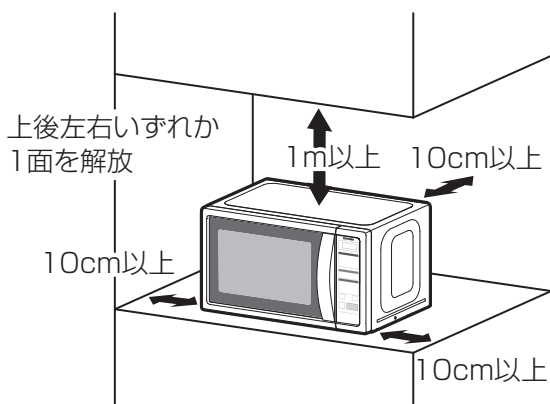
注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

安全に設置する



- 水平で安定した場所で使用する
不安定な場所で使用すると、落下・転倒してけがや火災の原因になります。
- 壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を離す
壁・家具・カーテンの損傷・汚損、さらにせまい場所に設置すると、過熱・火災の原因になります。風通しが良く、水などのからないところに設置してください。



- 肩より高い位置に設置しない
食材を取り出すときに不安定になり、けがややけどの原因になります。



- 本体が転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくても使用しない
- 扉が損傷したら使用しない
感電や電波漏れによる人体への被害のおそれがあります。点検・修理は、お買い上げの販売店または修理専用コールへご依頼ください。
- 扉にもものをはさんだまま使用しない
誤動作して電波漏れにより人体に被害を及ぼしたり、過熱して火災の原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 丸皿に衝撃を加えない
破損してけがの原因になります。

加熱禁止



- 金属容器や金串は使用しない
放電・火花・過熱・やけどの原因になります。
アルミホイルを使用する場合は、庫内壁面に近づけないよう注意してください。
- 鮮度保持剤（脱酸素剤）を入れたまま加熱しない
火災の原因になります。
- 庫内が空のまま加熱しない
過熱して火災の原因になります。

加熱中・加熱後は



接触禁止

- 高温になっている部分にさわらない
加熱中・加熱直後は、容器・扉・庫内などが熱くなっていることがあるので、やけどのおそれがあります。
食器を取り出すときは、ミトンやふきんなどを使用してください。



高温注意

- ラップを外すときは注意する
蒸気でやけどするおそれがあります。



- 調理以外の用途に使用しない
衣類やふきんなどの乾燥、食品の収納などに使用しないでください。異常動作・火災の原因になります。
- 業務用など家庭用以外の用途に使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務用など家庭用以外の用途に使用すると、火災などの原因になります。

食材が発煙・発火した場合は



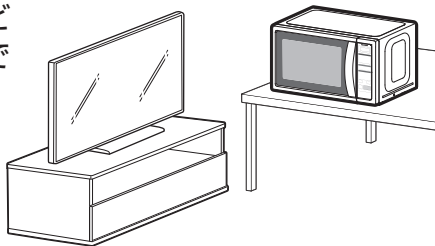
- 扉を開けない
食材が発火した場合は、すぐに調理を中止し、電源プラグを抜いて、炎が消えるまで扉を開けないでください。空気が流れ込み、炎が大きくなります。
また、扉に水をかけないでください。ガラス扉が割れることがあります。



- 庫内は常にきれいにする
発火するおそれがあります。
また、庫内が損傷すると、電波漏れなど危険な状態になるおそれがあります。

使用上の注意

- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- 無線LAN機器から離してください。
無線LANの通信機能が低下する場合があります。
- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。
扉を開けたままにすると、10分後に庫内灯は消灯しますが、電源は切れません。

- 扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- このレンジは、ボタンを操作するとブザーが鳴ります。調理終了もブザーでお知らせします。
- 取り忘れ防止のために、調理終了後扉を開けないと「ピッ、ピッ、ピッ」と鳴ってお知らせします。（1分ごとに5分間くり返した後、電源が切れます。）
- 加熱中は加熱むらをおさえるためにターンテーブル（丸皿）が回ります。回転方向は調理のたびに変わることがあります。

廃棄について

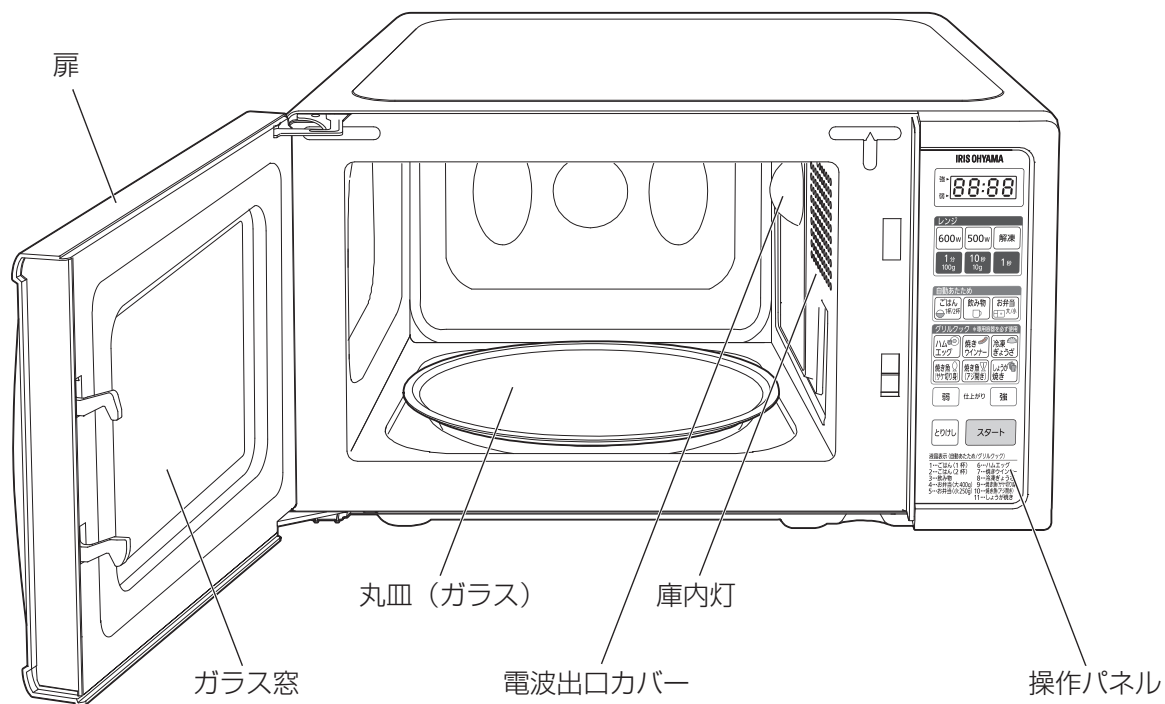
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

保護装置について

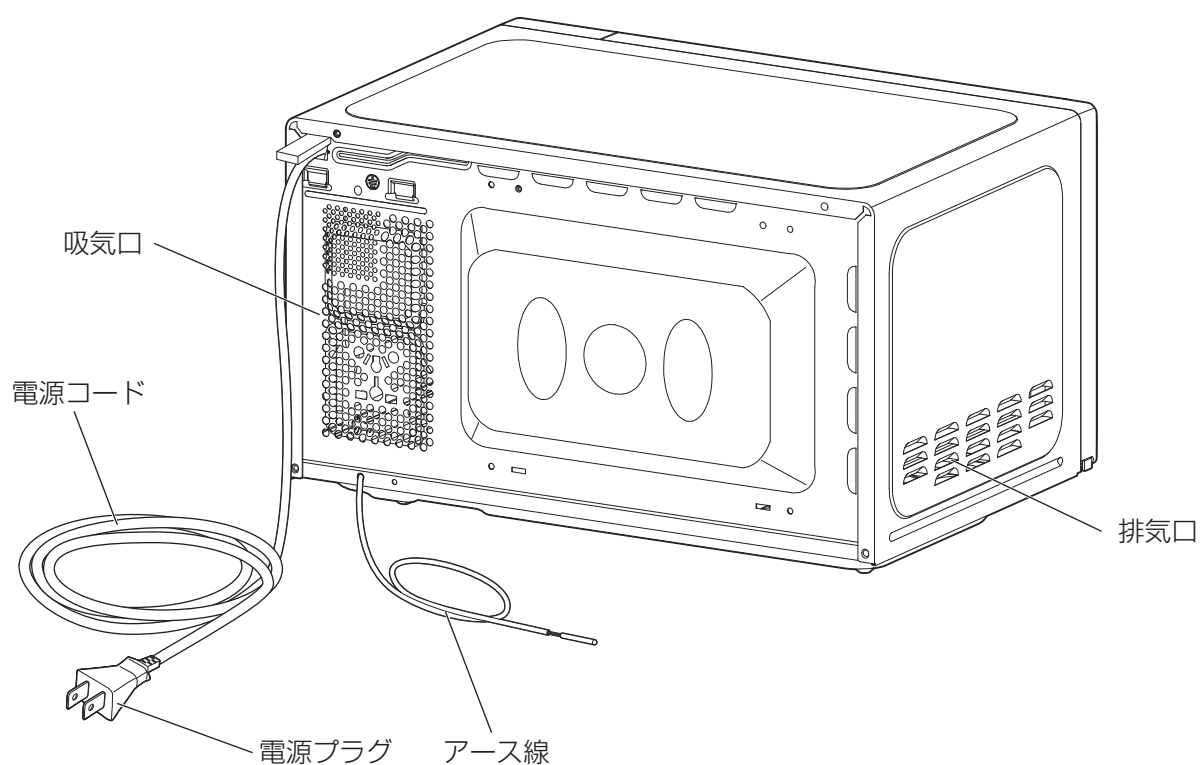
- 連続使用したり、水分の少ない食材を加熱したりすると、過熱による故障を防ぐための保護装置が働いて、運転が自動停止することがあります。
保護装置が働いたときは、30分ほどお待ちください。保護装置が解除され再び使用できるようになります。

各部の名称

■庫内（付属品を取り付けた状態）



■背面



■ 付属品

※ 破損したり、紛失したりしたときは、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

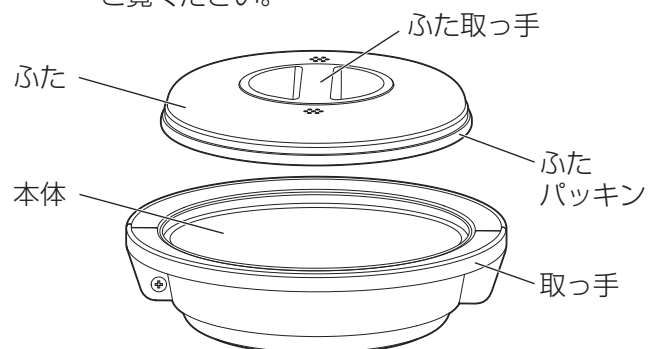
丸皿（ガラス）

回転ローラーに載せて使います。



専用容器

※ 詳細は16ページ「専用容器について」をご覧ください。



注意

● 加熱後は容器や取っ手が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください

■ 操作部

表示部

加熱時間やメニュー番号などが表示されます。

レンジ（時間・重量）ボタン

手動で加熱するときに、時間や重量を設定します。（→P12、13、18）

グリルクックボタン

専用容器を使用して自動でグリル調理するときに使用します。（→P17）

とりけしボタン

設定を取り消したり、加熱を途中で止めるときに押します。

（→P11、12、13、17、18）

長押しすると、ブザーの切／入を切り替えます。（→P10）



レンジ（出力）ボタン

手動で加熱するときに、出力を設定します。（→P12、13、18）

自動あたためボタン

自動で加熱するときにメニューを選びます。（→P11）

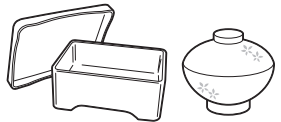
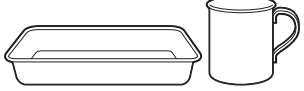
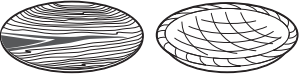
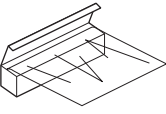
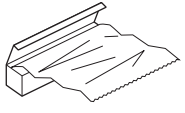
仕上がりボタン

自動あたためや、グリルクックで自動メニューを選んだときに、仕上がり进行调整します。（→P11、17）

スタートボタン

ボタンを押すと加熱がスタートします。

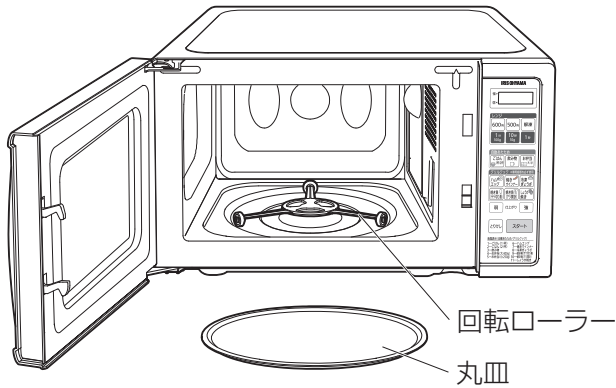
使える容器・使えない容器

ガラス	耐熱性がある 	○ 使えます ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。
	耐熱性がない 	✕ 使えません ・カットグラス・強化ガラスも使えません。
プラスチック	耐熱性がある (耐熱温度：140℃以上) 	○ 使えます ・「電子レンジ使用可能」の表示のあるものが使えます。 ・ふたは熱に弱いものがあるので、耐熱温度を確認してください。
	耐熱性がない (耐熱温度：140℃未満) 	✕ 使えません ・熱で変形するものも使えません。(発泡スチロール・ポリスチレン・ポリエチレン・フェノール樹脂・メラミン樹脂・ユリア樹脂など)
陶磁器・漆器	陶器・磁器 	○ 使えます ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。 ・金銀模様・絵柄・ひび模様のある器は、火花が出たり、傷んだりすることがあるので使えません。
	漆器 	✕ 使えません ・塗りがはげたり、ひび割れしたりすることがあります。
金属	アルミ・ほうろうなどの金属容器 	✕ 使えません ・金串、金網、金箔・銀箔のフィルムやテープ、針金の入ったものも使えません。
その他	紙・木・竹 	✕ 使えません ・加熱しすぎると燃えたりすることがあります。 ・釘や針金など金属を使用しているものは使えません。
	ラップ (耐熱温度：140℃以上) 	○ 使えます ・ただし、油分の多い料理は耐熱温度より高温になるので使えません。
	アルミホイル 	△ 使えます ・なま物の解凍などで部分的に使うことがあります。(庫内壁面に近づけたり、鋭利な部分を作らないようにしてください。)

準備

1 4ページの「安全に設置する」にしたがって、設置する

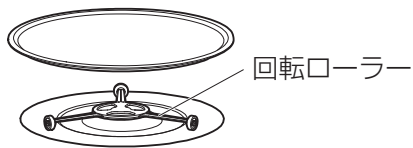
2 梱包材を外し、付属品を取り出す



- 1 扉固定用のテープを外します。
- 2 扉を開けて、傷防止用のビニールシートを外します。
- 3 丸皿と専用容器を取り出し、梱包材を外します。

3 丸皿をセットする

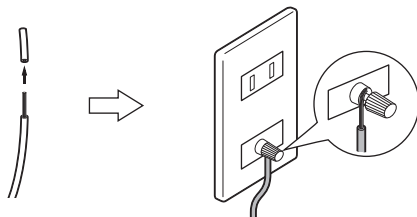
- ・ 回転ローラーの上に丸皿を載せます。



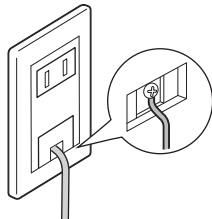
4 アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- ・ アース線先端の絶縁被覆を剥き取り、導線部分をアース端子に差し込んで固定します。

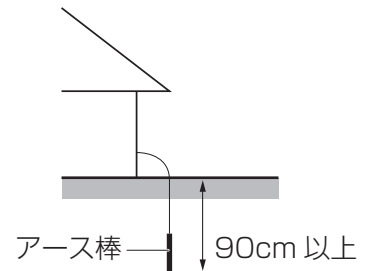


- ・ ふた付きの場合は開けてつないでください。



アース端子付きコンセントがない場合

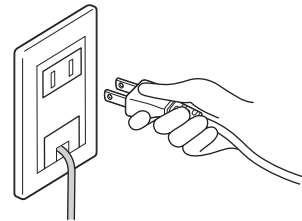
- ・ アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



警告

- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

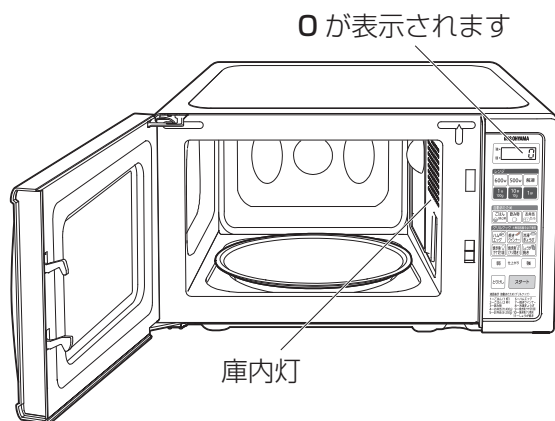
5 電源プラグをコンセントに差し込む



使いかた 基本

■電源を入れるには

- ・扉を開けると電源が入ります。
- ・扉を開けたときは、庫内灯が点灯します。



- ※扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ※扉を開けたままだと、約10分で庫内灯は消灯しますが、電源は切れません。

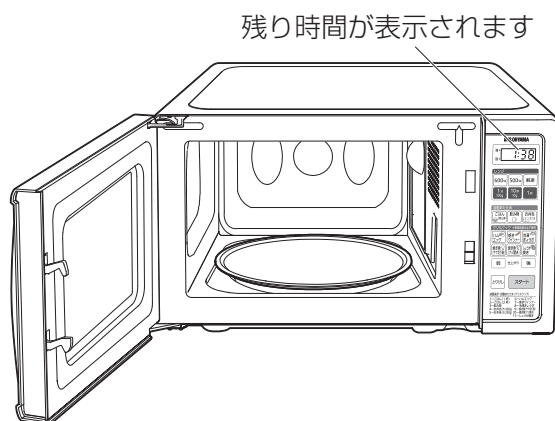
■操作を取り消すには 加熱を途中で停止するには

- ・操作を取り消すとき、加熱を途中で停止するときは、とりけしボタンを押してください。



加熱の途中で扉を開けると

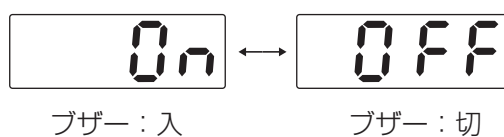
- ・加熱の途中で扉を開けると、加熱が一時停止します。



- ・扉を閉めてスタートボタンを押すと加熱が再開します。

■ブザーを切ったり、入れたりするには

- ・表示部に0が表示されているときに、とりけしボタンを3秒以上押してください。押すたびにブザーの入／切が切り替わります。



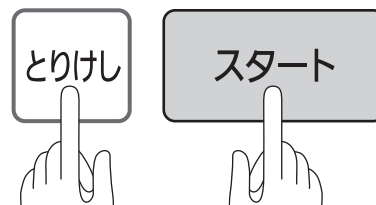
- ・3秒後に表示は元に戻ります。

■チャイルドロック

子どものいたずら事故を防ぐために、チャイルドロックをかけることができます。

チャイルドロックをかけるには。

- ・とりけしボタンを押しながらスタートボタンを押してください。
- ・表示部に[]が表示されます。

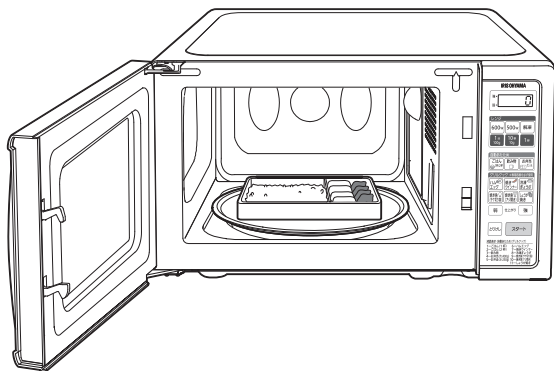


- ・再度とりけしボタンを押しながらスタートボタンを押すと、チャイルドロックは解除されます。

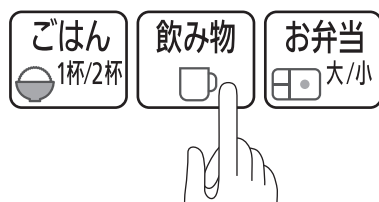
使いかた 自動あたため

1 食品を入れる

- ・扉を開けると電源が入ります。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品を耐熱性の容器に入れて丸皿の上に置き、扉を閉めます。
- ・食品はできるだけ丸皿の中央に、均等に配置してください。



2 自動あたためのメニューを選ぶ



食品	操作	表示
ごはん（1杯）	ごはんボタン 1回押し	1
ごはん（2杯）	ごはんボタン 2回押し	2
飲み物（1カップ）	飲み物ボタン	3
お弁当（大：400g）	お弁当ボタン 1回押し	4
お弁当（小：250g）	お弁当ボタン 2回押し	5

※ ごはんはラップをせず、固めのときは水をふりかけてください。

※ 冷凍品は自動あたためでは十分にあたたまりませんので、手動加熱であたためてください。



警告

● 弁当は、調味料の容器・まるごとのゆで卵・アルミカップなどは取り出してから加熱してください。



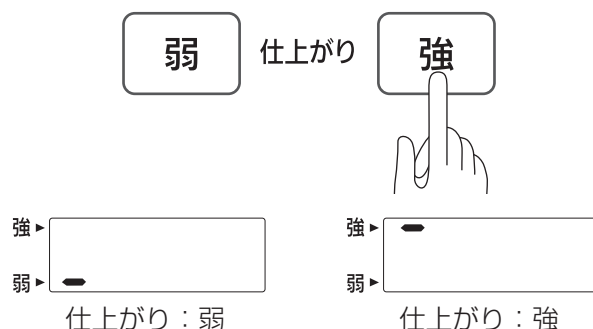
注意

● 飲み物は、加熱前と加熱後にスプーンなどでかき混ぜてください。

※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

3 必要に応じて仕上がりボタンで調整する

- ・加熱時間が調整されます。



4 スタートボタンを押す

- ・加熱が開始されます。



- ・表示部に残り時間が表示されます。

※ 加熱を途中で止めるときはとりけしボタンを押してください。

- ・加熱が終了すると、「ピー♪」が4回鳴ってお知らせします。



注意

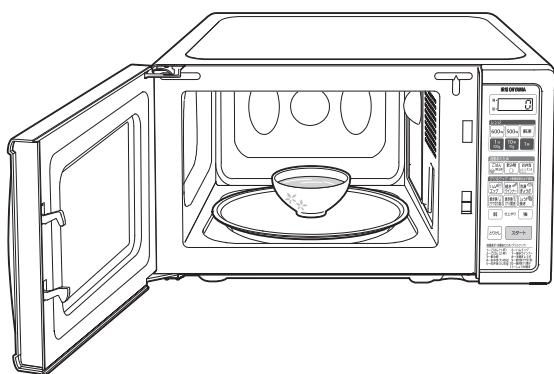
● 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください

使いかた 手動加熱

- 量が多いときは、適量に分けて加熱してください。
- ごはんやカレーなどは、平たく均一に1人前ずつ冷凍しておく、上手にあたためることができます。
- ラップの使いかたについては8ページ、15ページを参照してください。
- ゆで野菜を作るときには15ページを参照してください。

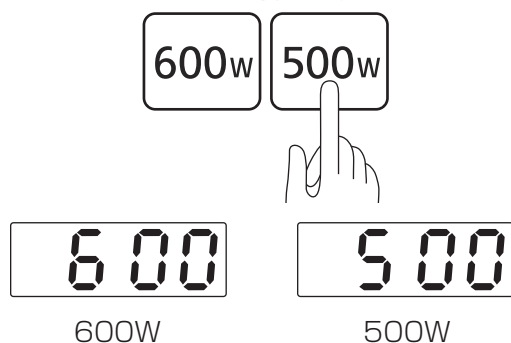
1 食材を入れる

- ・扉を開けると電源が入ります。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食材を耐熱性の容器に入れて丸皿の上に置き、扉を閉めます。
- ・食材はできるだけ丸皿の中央に、均等に配置してください。



2 レンジの出力を選ぶ

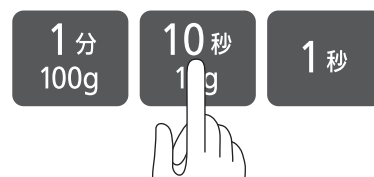
- ・600Wまたは500Wを押して選んでください。



※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

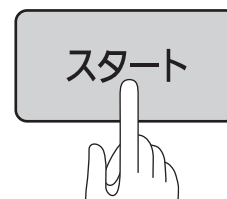
3 時間を設定する

- ・ボタンを1回押すごとに、1分ボタンは分のけたが、10秒ボタンは10秒のけたが、1秒ボタンは1秒のけたが以下のように変わります。
1分ボタン：1→2→...→15→0
10秒ボタン：1→2→...→5→0
1秒ボタン：1→2→...→9→0
- ・ボタンを押し続けると数字は連続して変わります。
- ・設定できるのは最大15:00です。15:00が表示されているときは、10秒ボタン・1秒ボタンを押しても受け付けません。



4 スタートボタンを押す

- ・加熱が開始されます。



- ・表示部に残り時間が表示されます。
- ※加熱を途中で止めるときはとりけしボタンを押してください。
- ・加熱が終了すると、「ピー♪」が4回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください

使いかた 解凍

- 食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- 解凍しかかっている食材は仕上がりにむらが出て、一部が煮えてしまうことがあります。解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。
- 少量の食品（100g未満）は、煮えや変色のおそれがあるので解凍はできません。
- 食材の細い部分や薄い部分にはアルミホイルを巻くと、煮えや変色をおさえることができます。

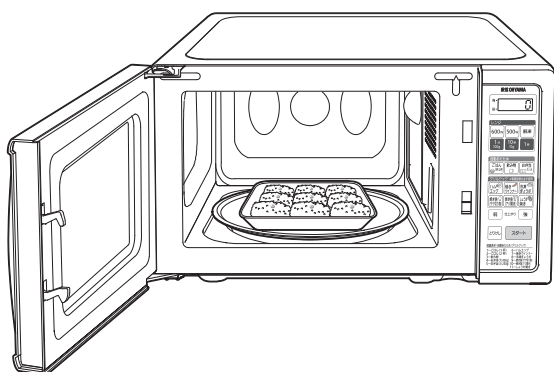


注意

- アルミホイルを使うときは、庫内壁面に近づけないでください。また鋭利な部分を作らないでください。火花が出ることがあります。

1 食品を入れる

- ・ 扉を開けると電源が入ります。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・ 食材のラップは外し、発泡スチロールのトレーに載せたまま丸皿の上に置き、扉を閉めます。
- ・ 発泡スチロールのトレーがないときは、耐熱性の容器に入れてください。
- ・ 食品はできるだけ丸皿の中央に、均等に配置してください。

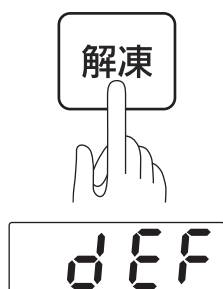


注意

- 発泡スチロールのトレーは熱で溶けることがあるので、加熱のしすぎに注意してください。

2 解凍ボタンを押す

- ・ 表示部にdEFと表示されます。



※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

3 重量を設定する

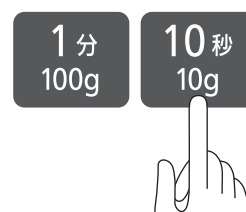
- ・ ボタンを押すたびに、**100g**ボタンは100gのけたが、**10g**ボタンは10gのけたが以下のように変わります。

100gボタン: 1→2→...→5→1

10gボタン: 1→2→...→9→0

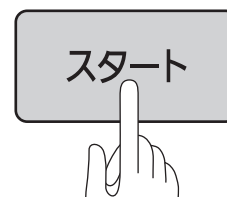
- ・ ボタンを押し続けると数字は連続して変わります。
- ・ 設定できるのは100～500gです。設定するときは**100g**ボタンを先に押してください。**10g**ボタンを先に押しても受け付けません。

※ 500が表示されているときは、**10g**ボタンを押しても受け付けません。



4 スタートボタンを押す

- ・ 加熱が開始されます。



- ・ 表示部に残り時間が表示されます。

※ 加熱を途中で止めるときはとりけしボタンを押してください。

- ・ 加熱が終了すると、「ピー♪」が4回鳴ってお知らせします。

調理の目安

レンジ 600Wで加熱する場合の目安です。

■あたため

食品・食材	分量	ラップ	加熱時間	メモ
ハンバーグ	1個 (80g)		約1分	
ハンバーグ (冷凍)	1個 (80g)	する	約1分30秒	加熱後、2～3分ラップをしたままむらす
焼きとり	6本 (150g)		約1分	照りを出すため、先にたれを塗る
てんぷら・フライ	1人前 (150g)		約1分	キッチンペーパーやてんぷら敷紙の上に、重ならないように並べる
 注意 ●いかは、はじけることがあるので加熱時間は控えめにしてください。				
フライ (冷凍)	4個 (100g)		約1分30秒	皿に並べる
焼きそば・スパゲッティ	1人前 (200g)		約1分30秒	加熱後かき混ぜる また、ぱさついているときはサラダ油かバターを少し混ぜる
ピラフ (冷凍)	1人前 (250g)	する	約4分30秒	あらかじめ、ほぐしておく
ごはん (冷凍)	1杯 (150g)	する	約2分30秒	
焼きおにぎり (冷凍)	1個 (80g)	する	約1分	
おにぎり	1個 (80g)		約30秒	
まんじゅう	1個 (65g)		約20秒	あんが熱くなるので、控えめに加熱する
肉まん・あんまん	1個 (110g)	する	約40秒 (冷凍品は約1分～1分30秒)	底の紙を取って、さっと水にくぐらせ、1個ずつゆったりとラップに包む
 注意 ●あんまんは、先にあんが熱くなり、3分以上 (冷凍品は4分以上) 加熱すると発煙・発火のおそれがあります。				
しゅうまい (冷凍)	1袋 (230g)	する	約3分	両面に水をふりかける
みそ汁	1杯 (150g)	する	約1分	加熱前と加熱後にかき混ぜる
煮物	1人前 (200g)	する	約1分30秒	
カレー・シチュー	1人前 (200g)	する	約1分30秒	加熱後かき混ぜる
丼物	1人前 (350g)	する	約2分	
牛乳 (冷蔵)	1杯 (200ml)		約1分30秒	加熱前と加熱後にかき混ぜる
お酒 (常温)	1本 (180ml)		約1分	加熱前と加熱後にかき混ぜる
茶わんむしのあたため	1個		30～60秒	様子を見ながら加熱する
ロールパンのあたため	2個 (80g)		約20秒	時間がたつと固くなるので、食べる直前に加熱する
今川焼き (冷凍)	1個 (90g)	する	約1分30秒	
ミックスベジタブル (冷凍)	100g	する	約1分30秒	
 注意 ●小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると火花が出ることがあります。100gより少ないときは、大きめの容器に野菜がひたるくらいの水を入れ、ふたをして加熱してください。(にんじん50g+水50mlで約2分)				
里いも (冷凍)	300g		約10分	

※ レトルト食品などで500Wが推奨されている場合は、レンジ (出力) で500Wを選んでください。

ラップの使いかた

ラップをするもの

- ・ 煮物、蒸し物、汁物、調理済み冷凍食品全般など、しっとり仕上げたい場合
- ・ 具の多いスープなど、はじけるおそれのあるもの

ラップをしないもの

- ・ ごはんもの、揚げ物、焼き物、炒め物など、水分を飛ばし気味にしたい場合

- ・ ラップは容器をゆったりとおおい、食品・食材に添わせます。余裕がないと破れることがあります。
- ・ 油分の多い食品を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超えることがあるので注意してください。

■ゆで野菜

食材	分量	ラップ	加熱時間	メモ
じゃがいも さつまいも	150g	する	約3分	まるごと加熱するときは、丸皿の中央を避けて置く
にんじん	200g		約6分	用途に合わせて切り、容器に入れてひたるくらいの水を加える
だいこん	200g	する	約4分	大きさをそろえる
キャベツ・白菜	200g	する	約2分30秒	太い芯はあらかじめそいでおく
ほうれん草	200g	する	約2分	葉と茎を交互に重ねてラップに包む
カリフラワー ブロッコリー	200g	する	約2分30秒	小房に分け、あらかじめ食塩水につけておく
グリーンアスパラガス	200g	する	約2分30秒	根元の固い皮を取り、あらかじめ軽く塩でもんでおく



警告

- 繊維質の多い食材は、発煙・発火することがあります。ラップをする、加熱しすぎないなど、注意して調理してください。



注意

- 加熱時間は目安であり、分量や調理状態により異なります。必要以上に加熱すると、発煙・発火の原因になりますので注意してください。

専用容器について

電子レンジでグリル調理ができる専用容器です。

- ・ 本体・ふたはアルミ製で、電子レンジの直接加熱でなく、底に仕込んだ発熱体の熱で調理します。底からの加熱で、フライパンのように焼くことができます。
- ・ 取り出しやすい全周取っ手付きです。
- ・ 内側はふっ素樹脂コーティングで、こびり付きにくく、調理後は洗剤や流水で簡単にお手入れできます。

■安全上の注意



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



禁止

- 調理中及び調理直後は容器や取っ手に直接さわらない
やけどのおそれがあります。必ずミトンなどを使用してください。
- 業務用で使用しない
- ガスなどの直火・IH・グリル・オーブンなどで使用しない
破損して、やけど・けが・周囲の物品の破損の原因になります。電子レンジにスチームやオーブンなどの機能が備わっている場合でも使用しないでください。



- 空で調理しない
過熱・破損して、やけど・けが・周囲の物品の破損の原因になります。
- 揚げ物調理、蒸し調理などに使用しない
専用容器はグリル調理専用です。他の調理に使用すると過熱して、火災ややけどの原因になります。



高温注意

- ふたを開けるときの注意
蒸気によるやけどのおそれがあります。蒸気穴からも蒸気が出るので注意してください。



指示

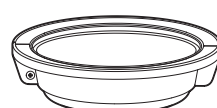
- 専用容器はレンジ庫内壁面に触れないように注意
- ふたのパッキンは必ず取り付けて使用する
放電・火花・過熱・やけどの原因になります。
- テーブルに移すときは必ずなべ敷を使用する
熱でテーブル表面がこげるおそれがあります。

■初めて使用するときは

- ・ 必ず各部に不具合がないか確認してください。
- ・ スポンジに台所用洗剤を付けて洗い、流水でよくすすいでください。

■使用上の注意

- 必ずふたをして使用してください。ふたをしないと電子レンジの直接加熱となり、グリル調理になりません。



- ふたには必ずパッキンを取り付けて使用してください。パッキンを付けずに使用すると火花が出ます。
- IMBY-T17電子レンジ専用です。他のレンジで使用しないでください。

■長くお使いいただくために

- 使用のたびにお手入れしてください。汚れが付いたまま加熱すると、焦げ付きや発火の原因になります。
- 容器の上で材料を切り刻んだりしないでください。
- コーティング面に傷を付けないよう、金属製のフライ返しなどは使用しないでください。耐熱樹脂製か木製のものを使用してください。
- 調理後は容器の腐食防止のため、料理を長時間（目安として1時間以上）入れたままにしないでください。
- お手入れは、必ず容器が冷めてから行ってください。急冷するとコーティングを傷めます。
- お手入れは、金属たわしや研磨剤の入ったナイロンたわしなどは使用しないでください。
- 食器洗い乾燥機での洗浄・乾燥はしないでください。
- 火のそばに置かないでください。
- 中に食品が入っていない状態で使用しないでください。（空だき）
- 連続使用はしないでください。必ず容器本体が冷めてから使用してください。

グリル調理～専用容器を使う（自動）

1 専用容器に食材を入れる

- 食材は重ならないように均等に配置してください。



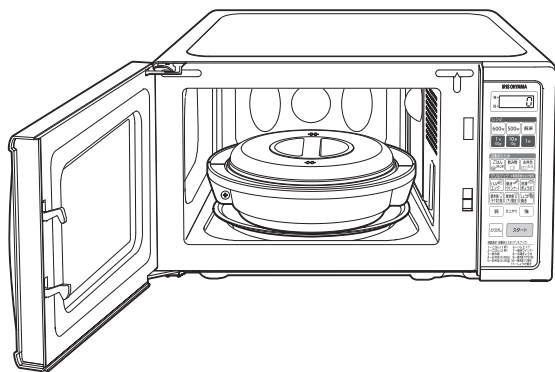
2 ふたをして電子レンジ庫内にセットし、扉を閉める

- 扉を開けると電源が入ります。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 食材ははみ出さないように、ふたは確実に閉めてください。
- ※必ず、ふたが浮き上がっていないことを確認してください。



注意

- 庫内壁面に接触しないようにしてください。放電・火花・過熱・やけどの原因になります。



3 グリルクックのメニューを選ぶ



メニュー	量の目安	表示
ハムエッグ	ハム2枚 + 卵1個	6
焼きウィンナー	ウィンナーソーセージ5本	7
冷凍ぎょうざ(市販品)	6個(100～160g)	8
焼き魚(サケ切り身)	1切れ(約80g)	9
焼き魚(アジ開き)	1枚(約80g)	10
しょうが焼き	豚ロース2～3枚(約100g) + しょうが焼きのたれ(適量)	11

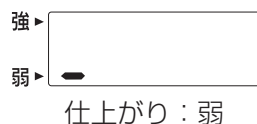
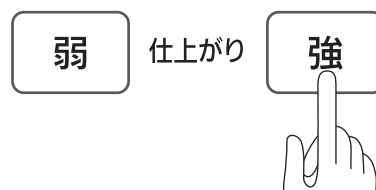
※表は目安です。食材の量や温度によって仕上がりに差が出ます。「仕上がり調整」で調整しきれない場合は、手動で600Wで様子を見ながら加熱してください。

※冷凍ぎょうざは、レシピブックを参考に、必要に応じて水を適量加えるなどの調整をしてください。

※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

4 必要に応じて仕上がりボタンで調整する

- 加熱時間が調整されます。



5 スタートボタンを押す

- 加熱が開始されます。



- 表示部に残り時間が表示されます。

※加熱を途中で止めるときはとりけしボタンを押してください。

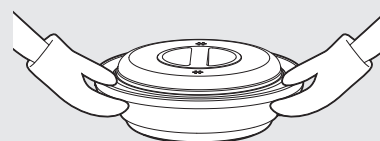
- 加熱が終了すると、「ピー♪」が4回鳴ってお知らせします。

※グリル調理の自動メニューは、食材の上側にはこげ目は付きません。両面にこげ目を付けたいときは、手動で調理して途中で食材を裏返してください。(→P18)



注意

- 加熱後は容器や取っ手が熱くなるので、ミトンなどを使用して取り出してください。



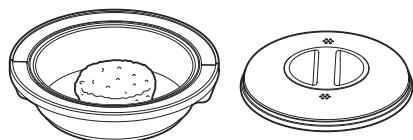
- ふたを開けるときは、湯気や油などでやけどをしないように注意してください。

グリル調理～専用容器を使う（手動）

- 専用容器は底面が発熱して調理します。食材の両面にこげ目を付けたいときは、手動で調理して、途中で食材を裏返してください。
- 食材や料理によっては、容器に油をひいて使用してください。

1 専用容器に食材を入れる

- ・食材は重ならないように均等に配置してください。



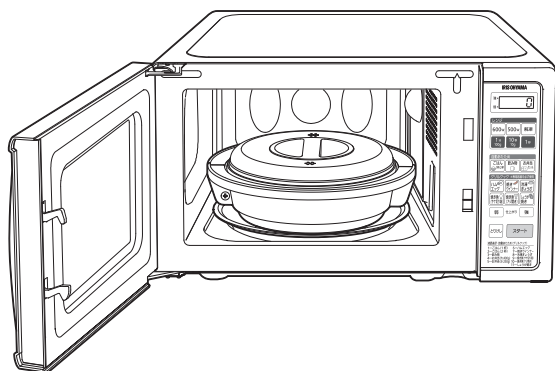
2 ふたをして電子レンジ庫内にセットし、扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入ります。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
 - ・食材ははみ出さないように、ふたは確実に閉めてください。
- ※必ず、ふたが浮き上がっていないことを確認してください。

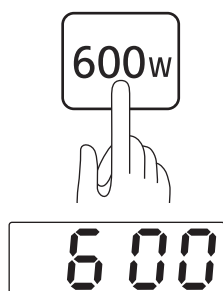


注意

- 庫内壁面に接触しないようにしてください。放電・火花・過熱・やけどの原因になります。



3 出力を600Wに設定する



- ※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

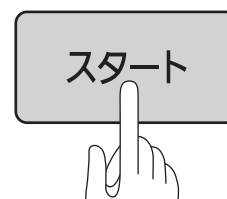
4 時間を設定する

- ・ボタンを1回押すごとに、1分ボタンは分のけたが、10秒ボタンは10秒のけたが、1秒ボタンは1秒のけたが以下のように変わります。
1分ボタン：1→2→・・・→15→0
10秒ボタン：1→2→・・・→5→0
1秒ボタン：1→2→・・・→9→0
- ・ボタンを押し続けると数字は連続して変わります。
- ・設定できるのは最大15：00です。15：00が表示されているときは、10秒ボタン・1秒ボタンを押しても受け付けません。



5 スタートボタンを押す

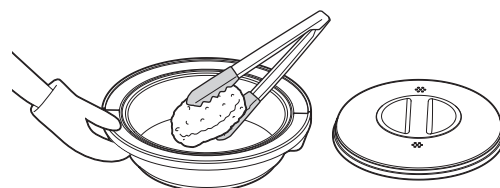
- ・加熱が開始されます。



- ・表示部に残り時間が表示されます。
- ※加熱を途中で止めるときはとりけしボタンを押してください。

6 必要に応じて、途中で食材を裏返す

- ・加熱の途中で扉を開けると一時停止します。（残り時間が表示されます。）
 - ・専用容器を庫内から取り出して、ふたを開け、 tongやフライ返しなどで食材を裏返してください。
 - ・扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱が再開します。
- ※コーティング面に傷を付けないよう、金属製のフライ返しなどは使用しないでください。耐熱樹脂製か木製のものを使用してください。



- ・加熱が終了すると、「ピー♪」が4回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱後は容器や取っ手が熱くなるので、ミトンなどを使用して取り出してください
- ふたを開けるときの、湯気や油などでやけどをしないように注意してください。

お手入れ



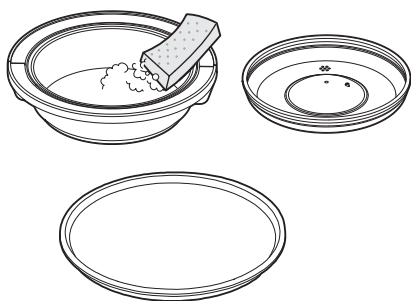
- お手入れは、必ず本体が冷めてから行ってください。
- 食材の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。火災の原因になります。

- 使用後は早めにお手入れしてください。
- みがき粉、たわし、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

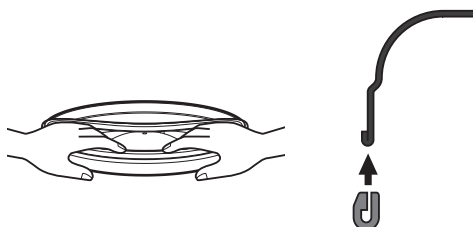
丸皿・専用容器

薄めた台所用中性洗剤で洗いで流す

- ・洗った後、よく乾かしてください。
- ・専用容器ふたのパッキンは取り外して洗えます。洗った後はよく乾かしてから取り付けてください。



- ・専用容器のふたは、よく乾かした後パッキンを取り付けてください。
- ・パッキンは、ふたの縁に指で押し込み、指でなぞって全周をはめ込んでください。



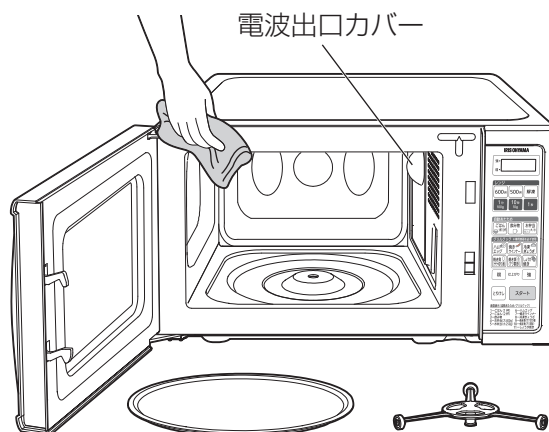
注意

- ふたのパッキンは必ず取り付けて使用してください。放電・火花・過熱・やけどの原因になります。

本体・庫内

よくしぼったふきんで拭く

- ・汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。
- ・庫内は丸皿と回転ローラーを取り外してお手入れしてください。



注意

- 電波出口カバーは汚れが付いたままにしないでください。火災の原因になります。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない (扉を開けても何も表示されない)	● 電源プラグが確実に差し込まれていない ● 電源ブレーカーが入っていない	● 電源プラグを確実に差し込んでください。 ● 安全を確認のうえ、電源ブレーカーを入れてください。
加熱中に電源が切れる (ブレーカーが切れる)	● 使用できる電気の量を超えている	● 他の電気製品のスイッチを切る、別なブレーカーの回路に接続するなどして、回路の容量を超えないようにしてください。
動作しない	● 扉がしっかり閉まっていない	● 扉をしっかり閉めてください。
加熱中に停止する	● 保護装置が働いた(連続使用したり、水分の少ない食材を加熱したりすると、保護装置が働く)	● 保護装置が復帰するまで、約30分お待ちください。(→P5)
ブザーが鳴らない	● ブザーが切になっている	● とりけしボタンを3秒押して、ブザーを入にしてください。(→P10)
1分ごとに、「ピッ、ピッ、ピッ」と鳴る	● 調理後、食品を取り忘れている	● 扉を開けると音は止まります。
加熱中に「ブーン」音が大きくなったり小さくなったりする	● 加熱をコントロールしている	● 故障ではありません。そのまま使用してください。
加熱中に「カチッ」という音がする		
丸皿が回転しない	● 回転ローラー、丸皿が正しくセットされていない	● 回転ローラー・丸皿を正しくセットしてください。
丸皿の回転方向が変わる	● 加熱開始のタイミングにより、丸皿は左または右に回転する	● 故障ではありません。
加熱中、扉に水滴が付いたり落ちたりする	● 食品から出た水蒸気が扉に結露する	● ふきんで拭き取ってください。

火花が出る	●アルミホイル・専用容器が庫内壁面に近い	●アルミホイル・専用容器を庫内壁面から離してください。(→P8)
	●専用容器や専用容器のふたのふちに汚れなどが付いている	●専用容器・専用容器のふたの汚れを取り除いてください。
	●アルミホイルなどに鋭利な部分がある	●アルミホイルは鋭利な部分を作らないでください。(→P8)
	●金銀模様のある容器を使用している	●金銀模様のある容器は使用しないでください。(→P8)
	●庫内に食品かすなどが付着している	●庫内壁面をお手入れしてください。(→P19)
	●専用容器のふたのパッキンを付け忘れた	●専用容器のふたは必ずパッキンを付けて使用してください。
食品があたたまらない	●食品がアルミホイルなどでおおわれている	●食品をアルミホイルなどでおおうと、加熱されません。
	●庫内や容器に水滴が付いている	●水滴に熱が吸収されると食材が十分にあたたまりません。水滴が付いている場合は拭き取って使用してください。
自動メニューでごはんが十分にあたたまらない	●冷凍のごはんをあたためている	●冷凍のごはんは自動メニューでは十分にあたたまりません。手動加熱であたためてください。
解凍するとむらが出て一部が煮えてしまう	●食材に細い部分・薄い部分がある	●食材の薄い部分や細い部分にアルミホイルを巻くと、煮えや変色を防ぐことができます。
	●食材が半解凍されていた	●食材の凍った部分と解凍された部分では熱の通りかたが違います。食材は、解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

仕様

品番	IMBY-T17-5	IMBY-T17-6
電源	AC 100V	
定格周波数	50Hz	60Hz
定格消費電力	1,150W	
定格高周波出力	600W、500W、解凍（200W）	
発振周波数	2,450MHz	
タイマー	1秒～15分	
丸皿径	255mm	
外形寸法	幅440×奥行325×高さ255 mm	
加熱室の有効寸法	幅306×奥行307×高さ190 mm	
庫内総容量※ ¹	約17L	
製品質量（容器を含まず）	11.05kg	10.35kg
区分名※ ²	A	
電子レンジ機能の年間消費電力量※ ³	59.9kWh	59.5kWh
年間待機時消費電力量※ ³	0.0kWh	
年間消費電力量※ ³	59.9kWh	59.5kWh

※¹ 庫内総容量とは、JISの判定基準にもとづき算出された容量です。

※² 区分名は、家庭用品品質表示法及び省エネ法にもとづき、機能・加熱方式・庫内容量の違いで分かれています。

※³ 年間消費電力量は、省エネ法特定機器「電子レンジ」測定法により測定した数値です。実際に使用する年間消費電力量は、周囲環境・使用回数・使用時間・食材の量によって左右されます。

コンセントに電源プラグを接続した状態で、表示部が消灯しているとき（待機時）の消費電力は0Wです。

※ 製品の仕様は予告なく変更することがあります。

■専用容器（品質表示）

容器本体

表面加工	内側	ふっ素樹脂塗装加工
	外側	耐熱シリコン塗装加工
材料の種類	本体	アルミニウム合金 （底の厚さ1.2mm）
	貼り底	フェライト混製シリコン ゴム（厚さ1.2mm）
	取っ手	SPS（シンジオタクチック ポリスチレン樹脂） （耐熱温度245℃）
寸法		20cm
満水容量		1.5L

ふた

表面加工		アルマイト処理加工
材料の種類	ふた	アルミニウム合金
	取っ手	SPS（シンジオタクチック ポリスチレン樹脂） （耐熱温度245℃）

容器付き電子レンジ IMBY-T17-5 / IMBY-T17-6

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間		お買い上げ日より：1年間 ※付属品（専用容器）を除く	
年 月 日					
お客様	お名前			※販売店	住所・店名
	ご住所 〒				
	電話（ ） -				
			電話（ ） -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料) **0800-888-2600**

Web からの問い合わせは <http://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください